



イノスマンスリー

INOS Monthly

知って得する！ 住まいの場所別お手入れ法

No.6

網戸

* 軽い汚れは化学ばたきと掃除機で

網戸は外からの涼しい風を運び、虫や土ホコリの進入を防いでくれます。それだけに網目は汚れやすい場所の一つです。時々化学ばたきをかけてホコリを落とします。掃除機を使うときは、網戸の外側にダンボールや新聞紙を当てて掃除機をかけると、網についたホコリが吸い取りやすくなります。

【ワンポイント】網戸の両側を掃除するときは、内側、外側の順が原則。外側を先にすると、内側の繊維汚れが網目に食い込んでしまい、取りにくくなる。

* 取りはずせるなら丸洗いが一番

汚れがひどいときは、網戸を取りはずして、風呂場や庭で丸洗いをします。サッと水をかけたあと、薄めた住居用洗剤液をスプレーし、スポンジで目に沿って軽くこすります。シャワーやホースで水をかけたら、乾いたタオルで水分を拭き取り、陰干しして乾かします。

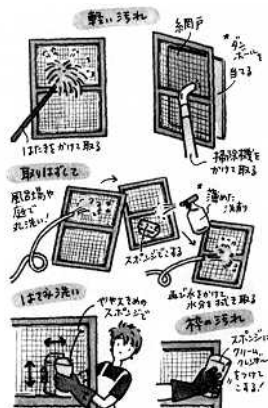
* 両側を同時にはさみ洗い

取りはずしが大変な場合は、ホコリをはらってから、スポンジで網戸の両面をはさみ洗います。やや大きめのスポンジ2個に薄めた住居用洗剤をゆるめにしぼり、網戸をはさんで上下左右に、網目が伸びないようにこすります。汚れを落としたあとは水拭き、カラ拭きして仕上げます。

* 枠の汚れにはクレンザーを

網目と一緒に網戸の枠も洗ってしまうのがコツ。アルミやプラスチックの枠にこびりついた汚れは、台所用クリームクレンザーをスポンジにつけてこすり洗います。

【ワンポイント】網戸に穴があいたときは、ハサミで穴の部分を整え、同系の網戸用ネットを購入して、穴より多少大きめに切り、ビニール用接着剤を塗って両側を押さえてくっつける。



カーテン

* こまめに掃除機でホコリ取り

光や温度の調節、防音、遮蔽から部屋の雰囲気づくりまでしてくれるカーテン。そのカーテンが薄汚れていれば、気分も沈んでしまいます。普段の掃除機がけの際、一緒に掃除機をかけましょう。隙間ノズルでかけるとカーテンを吸い込まずにホコリだけ取れます。ホコリのたまりやすいタック部分は手で引っ張りながらかけるのがコツ。

* 月に1度は丸洗い

ポリエステル、混紡、綿など素材を確かめた上、適した方法で洗濯するのが基本ですが、ほぼ洗濯機でOKです。フックをはずし、びょうぶだたみにしてネットに入れ、丸洗います。脱水後は、手でたたきながらシワを伸ばし、洗ったフックをつけてそのままカーテンレールにつるして広げます。白いレースのカーテンは、バケツなどで予備洗いしてから洗濯機で洗うと、白さがさえます。黄ばみが残ったら酸素系漂白剤に30分程度つけてから、再度洗います。

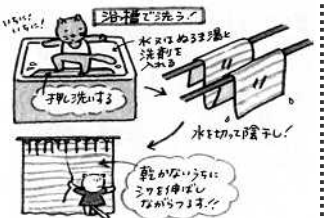
* 大きなものは浴槽で押し洗い

洗濯機に入らないときは、浴槽に15~20センチ程度に水かぬるま湯と洗剤を入れ、たたんだカーテンを入れて足踏みしながら押し洗います。よくすすいでから浴槽の縁にかけ、水を切ったら、2本の物干し竿で陰干しします。完全に乾かないうちにシワを伸ばしながらカーテンレールにつるすのがコツ。

【ワンポイント】フックは、不要になったパンストの中に入れて、台所用洗剤で洗い乾かしておく。乾いたカーテンに防水スプレーすると、タバコのヤニやニオイの防止にもなる。

* カーテンレールの手入れ

住居用洗剤の薄め液で雑巾をしぼり、細かい部分まで丹念に拭いたあと、水拭きして清めます。溝のあるカーテンレールには、布きれを巻いた割り箸を利用します。カーテンレールを取りはずして手入れすれば万全です。



『住まいのお手入れハンドブック』（PHP研究所）より

『住まいのお手入れハンドブック』発・お役立ち情報、次号もお楽しみ

全国に広がる家づくりネットワーク

INOS

イノスグループ



株式会社 田中工務店

本社 京都府舞鶴市倉谷1016番地

〒624-0906 TEL0773(75)2227(代)

FAX0773(77)1667

☎ 0120-185-750